

令和3年度東日本大震災風化防止イベント 福島県知事メッセージ

福島県知事の内堀雅雄です。

皆さん、東日本大震災復興フォーラムへようこそお越しくださいました。

東日本大震災と原発事故から今年の3月11日で11年が経過いたしますが、この間、国内外の多くの皆さんから、温かい御支援とエールを頂きながら、福島の復興は着実に前進してきました。心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

「福島に思いを寄せていただいている皆さん、本当にありがとうございます。」

福島県では、帰還困難区域を除いて面的な除染が完了し、避難指示区域が大幅に縮小したほか、多くの国・地域で県産食品の輸入規制が解除されており、福島県産の農林水産物の輸出量は、震災前水準を超えて過去最高を記録しました。

一方、今もなお3万人を超える方々が避難生活を続けておられるほか、廃炉と汚染水・処理水対策、根強く残る風評と時間の経過に伴って進む風化の問題など、課題が複雑化・多様化しており、本県は多くの困難を抱えています。

このような課題に直面しながらも、私たちは復興への歩みをひたむきに進めてきました。

一昨年には、災害の記録や教訓、復興の過程を後世に継承・発信するための施設「[東日本大震災・原子力災害伝承館](#)」が開館したほか、昨年は、震災時の姿をそのままに保存した、県内初の震災遺構として、[浪江町立請戸小学校](#)が公開されました。

また、「ふくしまから、日本一の米をつくりたい」との思いで14年もの間、理想を追い求め、開発を続けてきた本県のトップブランド米「[福、笑い](#)」が、昨年10月に本格デビューを果たしたほか、様々な逆境にも負けず、蔵元が切磋琢磨しながら造り上げたふくしまの日本酒は、[全国新酒鑑評会で8回連続金賞受賞数日本一](#)という偉業を達成しました。

我々は、復興に向けた挑戦をひとつひとつ積み重ねていくことで、福島を覆っている「影」を取り払い、希望の「光」へと変えてまいります。

最後に、皆さんの被災地に対するエールは、我々にとって本当に大きな力、原動力となります。これからも、福島、そして東北への応援をよろしく願います。